

## 東能勢中学校区 小中一貫教育校開校に向けた保護者説明会 質疑応答要旨(令和3年7月30日・31日)

※質問・回答とも要旨を記載しております。  
※本説明会の趣旨に関係するもののみ掲載しております。

No.	項目	種類	質問内容	回答内容
1	保幼小中一貫	質問	15年間を一貫して考えていくということですが、小中一貫校の説明がほとんどでした。保・幼と小の連携についてはどのように考えていますか。	15年間をつなぐ「とよの未来科」と「使える英語」のカリキュラムを作成し、就学前から計画的に学習を行っていきます。また、「保幼小接続カリキュラム」を作成し、保幼と小学校の学びをつないでいきます。交流学习も積極的に行っていきます。
2	保幼小中一貫	意見	小中一貫になるよさとビジョンが、いまひとつ想像できません。これまでの学校生活もこれといった目標が掲げられていない中で、早い年齢から中学生と交わることや、地域に残されることへのこだわりが見えないので、中学生の学習面に悪く影響しないか心配があります。	保幼小中一貫教育導入のねらいは、すべての教職員が義務教育終了時の出口を見据え、めざす子ども像を共有し、その実現に向け一貫した教育を行い、教育の質を高め、教育課題の解決を図ることにあります。就学前、小学校、中学校においてそれぞれに行われている「教育活動」と「システム」を融合し、段差を小さくして、切れ目なく0歳から15歳までをつなぎ、子どもたちのよりよい成長をめざしていきます。学習環境は変わりますが、子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、小中の教員が連携・協働し、指導していきます。
3	教育課程	要望	特色がなく、地域性が生かされていません。ここにしか教育機関がなく、“陸の孤島”と化している中で、東能勢のウリや伝統的なものがなく、暗に府下の流れに沿わずことは、ここでは違和感を感じる部分もあります。子どもたちに向き合った、“東能勢ならではの”丁寧な取り組みをしてほしいです。	地域資源を最大限活用した、豊能町だからこそ学べる「とよの未来科」を創設します。「とよの未来科」では、就学前から計画的に学習し、グローバルな視点で「豊能町の未来」のためにできることを探究していく学習を行っていきます。
4	教育課程	質問	「小中一貫カリキュラム」を作成するということですが、学習指導要領に定められている学習内容を遅らせたり早めたりするのでしょうか。	「学習指導要領」を基本として、義務教育の9年間をつなぐカリキュラムを作成する予定です。転入・転出児童生徒が困ることのないよう対応できるようにします。町独自のカリキュラムとして「とよの未来科」を創設し、特色ある教育を行っていきたいと考えています。
5	教育課程	質問	3・4年生の自主活動とは、どのような内容のものですか。	前期課程の最高学年は4年生となりますが、今の5・6年生が行っている委員会活動のような自主活動を3・4年生が行うことを考えています。
6	教科担任制	質問	教科担任制が導入され、56789年を受け持つことになる場合、教師の負担への配慮はなされますか。	中期・後期のグループでの教科担任制を想定していますが、人員配置については只今調整中です。教職員の負担感を軽減できるよう、学校と事務局で協議をしていきます。

7	行事	質問	令和3年度に「出発式」、令和4年度に「節目の式」とありますが、違いは何ですか。	現4・5年生は、令和4年3月で小学校校舎での生活を終えることとなりますので、小学校校舎からの旅立ちを意味付けるため、「出発式」を行います。令和4年度以降は、一貫教育が始まり、前期・中期・後期を意識した教育課程となりますので、それぞれの節目に「節目の式」を行います。式の名称は、仮称です。
8	行事	質問	今年度の修了式を2日早めるということですが、2日分の授業時間の補充をどのようにするのですか。	授業時間は、通常3時間のところを4時間、5時間のところを6時間にすることで補充をし、子どもたちに不利益が生じないようにしていきます。詳細は、学校から説明があります。
9	行事	質問	今年度の修了式を2日早めるということですが、2日も早める必要があるのですか。	学年度末の事務処理・学年度始めの準備及び新体制づくりの準備、教室環境整備、教材備品等の移動搬入のために時間が必要です。ご理解をお願いします。
10	校歌	意見	もうすでに誰もが歌える小学校の校歌をそのまま使うのはどうでしょうか。	ご意見を参考に、令和4年度から総務部会で協議・検討を進めていきます。
11	制服	質問	7～9年生は制服着用となっていますが、スケジュール表では令和6年度から新しい制服着用となっています。新しい制服ができるまでに、7年生になる子は今の制服を着用することになるのですか。	新しい制服ができるまでに7年生になるお子さんは、現在の制服を卒業まで着用することになります。
12	制服	質問	令和6年度から新しい制服着用となっていますが、義務教育学校開校時は2種類の制服があるということですか。	義務教育学校の制服導入等については、令和4年度から部会を立ち上げ、保護者アンケート等を実施し、検討していきます。その過程で新しい制服を導入することになった場合は、令和6年度から新しい制服を導入しますので、令和8年度の開校時には新しい制服でそろう予定です。
13	給食	質問	令和8年度以降の給食はどうなりますか。	令和8年度からは、西地区で給食をまとめて作り東地区に運ぶ「親子方式」による給食を考えています。自校調理と変わらない温かい給食を提供します。
14	給食	質問	簡単に親子方式で給食を提供できそうなのに、なぜ工夫されないのか。蓋ができるお弁当だと食べ残しが罪悪感なくできてしまい、育ち盛りの時期に心身の環境としてよくない気がします。作り手の存在を感じる温かい給食は、学校への愛着を育むと思います。	中学校給食を始める前に、親子方式も検討しましたが、小学校の給食室から運び出す際の地形の問題、中学校の受入施設の整備費用などを検討し、デリバリー給食を選択いたしました。食べ残しの問題については、授業に食育の視点をもっと取り入れたり、生徒と給食調理業者との交流の場を設けるなど作り手の思いを伝える取り組みを進めたいと思っています。

15	給食	要望	デリバリー給食は、子どもから「まずい。」と聞いています。なぜ、「まずい」給食を強制するのかわかりません。食品ロスを少なくしようとしている社会に逆行しています。育ち盛りの子が昼食を残さざるを得ないことも心配しています。美味しい給食に替えられないなら、「お弁当の持参」か「デリバリー給食」の選択制にしてほしいです。	残渣が多い状況ですが、毎食、事務局職員で検食をして「まずい」という給食ではないと認識しています。他市でも、デリバリーの場合、残渣が多い状況です。改善策として、リクエスト給食・パン提供・工場見学等の機会を設けています。	
16	給食	要望	中学校の子どもは、SDGsを勉強しているのですが、給食を残す子どもが多いと聞いています。小学校の子どもは、自分で減らしたり、増やしたりと量を決められるのができにくくなります。どうぞ給食を考えていただきたいです。町の方も1か月食べてみてください。		令和8年度からは方式を切りかえますが、令和4～7年度まではデリバリー給食としたいと考えています。また、5・6年生保護者対象の試食会も設定していきたいと思います。
17	給食	要望	宅配の弁当ということですが、今の中学生でも残す子どもが多いと聞いています。食品ロスをなくそうと言われて中、今まで以上に残す子どもが多くなると思います。今後、給食を考えているのであれば、早めに給食にしてほしいと思います。		
18	給食	要望	一貫校なので、小学校の給食室で9年生分の給食を作っていただきたいです。	現在、小学校から中学校へ給食を運ぶのは困難な状況です。令和8年度に東地区で義務教育学校を開校する際には、西地区の義務教育学校で一括調理し、東地区へ温かい給食を運ぶ親子方式を予定しています。	
19	給食	要望	小学校に給食室があるので、中期・後期の子どもたちにも温かい給食を提供できる方法がないか検討していただけないでしょうか。「食」が、心も体も満たす源であると思います。		
20	給食	要望	「わくわく教室」や「学童保育」へ参加する5・6年生は、小学校に移動すると説明を聞きました。それができるのであれば、中学校校舎の子どもたちが小学校校舎へ行き、自校給食を食べさせてあげたいと思いました。	中学生が小学校で給食を食べるのは、移動時間、小学校での受入れ体制などの問題で困難な状況です。	
21	給食	質問	「デリバリー給食」をやめられないなら、家からのお弁当持参は認められませんか。	選択制を導入すると食数が減り、業者の対応が困難となることから、全員のデリバリー給食としていきたいと考えています。	
22	通学	要望	とても暑かった日、子どもたちと一緒に歩いて帰ってみました。温暖化の激しい今、合理的な通学路のご検討をお願いします。	下校を見守っていただき、ありがとうございます。ご意見を参考に、通学路等安全対策部会で協議・検討を進めていきます。	
23	通学	意見	雨天時に送迎する保護者が多いので、役場前が車で込み合いそうで、トラブルが起こらないか心配です。	懸念事項として、通学路等安全対策部会で協議します。	

24	P T A	要望	PTA組織を一つにし、役員の数だけ減らしてそのまま続けていくということですが、もっと変えてほしいという意見が多いと思います。もっと保護者の意見を聞いて、参加のしやすい形にしてほしいです。	
25	P T A	要望	PTAのボランティアとしての活動は協力していきたいと思いますが、5役員となると負担が大きく、子どもをほったらかしの作業に不満を感じます。学校が新しくなる機会に、中学3年生保護者での役員は、受験や将来に向けて大事な時期なのでなくしてほしいです。	大卒の方向性は提示させていただきましたが、実際の活動については、今後PTA部会で検討していきます。保護者のみなさんのご意見をお聞きする場として「懇談会」等を開催しますので、ぜひご参加いただき、ご意見を出してください。PTA部会では、保護者のみなさんの参加しやすい形を検討していきます。
26	P T A	要望	これまでより幅の広い意見とらえる必要が出てくると思うので、押し付け合うPTA活動から、子どもたちのために、保護者も楽しむPTA活動をしていけるチャンスではないかと思います。ポイント制ではなく自主性を問う、能力や士気ある方で構成されるPTA活動を期待したいです。	
27	部 活 動	質問	来年度から、部活動はどうなりますか。今ある部活は、そのまま残りますか。	来年度5・6年生も部活動に参加するかどうかは検討中です。7年生以上の部活動は、継続します。
28	部 活 動	意見	部活動について、長年見直しがされていないように感じます。地域のスポーツクラブはあるのに、中学校にはそのスポーツをする場がないと、いろいろなロスを感じます。様々な競技を経験することもよいですが、ニーズとあっていないことで、部活動がすたれてしまうのはよくないと思います。	地域のスポーツクラブと中学校の部活動では、活動の目的が違います。国においては、中学校の部活動は地域のスポーツクラブ等へ移行していくことが検討されていますが、現段階では学校事情もありますので、現状をご理解いただけますと幸いです。
29	施 設 ・ 設 備	質問	今、小学校では学習室を更衣に使用していますが、中学校校舎ではどうなりますか。	中学校には、更衣室を設置します。
30	施 設 ・ 設 備	質問	中学校体育館の空調工事があるという話でしたが、小学校体育館の空調はどうなりますか。	小学校の体育館には空調設置の予定はありません。中学校は避難所に指定されていることもあり、令和3年度空調を設置します。
31	施 設 ・ 設 備	質問	令和8年度には1年生も中学校校舎に来るのなら、遊具等が必要になるとと思いますが、遊具の設置はどうなりますか。	令和8年度までに、遊具を移動または設置していきます。これからの計画となります。それまで5・6年生は、工夫して遊ぶこととなります。
32	施 設 ・ 設 備	質問	遊具を設置する場合、中学校の部活動に影響はありませんか。	部活動に影響が出ないように、設置場所を考えていきます。

33	施設・設備	質問	現在、中学校の普通教室にエアコンは設置されていますか。	普通教室には設置済みです。普通教室以外では令和2年度に学校の要望をもとに特別教室など各校5か所程度増設したところです。
34	施設・設備	要望	コロナでプールの授業がなくなり、体育は体育館でされていると思いますが、この暑さで動き回るのは危険だと思います。また、体育館は、学童でも使えばいいと思いますし、ワクチンの接種会場、避難場所にもなります。学校は、その時に通う子どもだけではなく、万が一の時に誰もが利用する場所になるかもしれません。体育館の「エアコン」を設置を強く希望します。	本年度の改修工事において、体育館に空調設備を整備します。
35	施設・設備	要望	校舎はきれいですが、テニスコートやプールなどはもう少し整備された方がよいと思います。道に面しているので、草が覆っていたりすると、さびれた印象を与えています。	施設の草刈りを定期的に行っています。
36	ミマモルメ	要望	「ミマモルメ」を中学生も利用できたらと思います。	「ミマモルメ」を中学生も利用できないか、検討中です。
37	人員配置	質問	子どもたちの日々の悩みや困りごとを聞いていただけるスクールカウンセラー等の配置はどのように考えていますか。	現在もスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの人的配置をしており、今後も配置の継続は可能であると思われませんが、活用の仕方については検討課題です。
38	人員配置	要望	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを低学年の子どもたちも活用できるように周知していただきたいです。	現状、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、各学校での活用・対応になっています。保護者の方へは学校だよりで周知していますので、そちらを活用していただきたいと思っています。
39	教育課題	意見	ほとんどの児童が、幼稚園からの仲なので、小学校でのトラブルを引きずってしまいます。トラブルの徹底的な根治のできない体制に不安を感じます。結局、地域でも生活しづらくなっています。	子どもたちのトラブルはできるだけ引きずらないよう、保幼小中の教職員が連携し合い、みんなで子どもたちを見守り、丁寧に指導していきます。また、これまで以上に縦の活動や地域の方々、東西間の交流を行っていくなどの工夫をすることで、人間関係を育む力やコミュニケーション能力を高めていきたいと考えています。
40	教育課題	質問	町の教育課題として「学習意欲の低下」「いじめ問題」「コミュニケーション力の低下」等を話されていましたが、数値等で具体的に問題を把握しているのですか。	全国学力・学習状況調査で、小学6年生・中学3年生の実態について把握しています。学力の面では全国と同程度ですが、意欲面では低下しています。
41	教育課題	意見	大がかりなプロジェクトなので、町としても成果を具体的に数値として示せる方がよいのではないかと思います。	今後、町独自の学力・体力・生活調査「とよのチャレンジ」を通し、検証していきたいと考えています。

42	学校再編	質問	町づくりが成功し住民増した場合の設定で話されていますが、思うように進まない場合、少人数になった場合は、東西で一つの一貫校づくりを視野に入れているのですか。	複式学級が2つになったときを学校再編再検討の目安としています。複式学級は、小学校では2個学年で16人(1年生を含む場合は8人)、中学校では2個学年で8人を下回る場合に編成することができます。
43	町づくり	要望	町民は、町づくりについても興味があると思うので、今後、開催していただきたいと思いました。	毎年、各地域へ出向き町政懇談会を開催し、住民の皆様と意見交換を行っています。コロナの感染症対策として一部参加者の制限をさせていただきましたが、今年度も6・7月に開催させていただきました。詳細は、ホームページをご覧ください。次年度以降も開催を予定していますので、ご参加ください。
44	その他	質問	今後の検討事項について、再度報告や説明があるのですか。	今後の検討事項については、12月頃に報告・説明会をさせていただく予定です。
45	その他	質問	各部会を設置して検討していくということですが、情報公開や周知の方法はどのように考えていますか。	各部会の進捗状況については、毎月2回発行(1日・15日)の保幼小中一貫教育だより「豊能の風」でお伝えします。また、町HPにも掲載します。